

SC ACADEMY

SCアカデミー

履修ガイド

第20期(2026年度)版



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

はじめに

第20期(2026年度)SCアカデミーは、主にSC業界中堅の方々を対象にして、次世代経営者層の育成を目的としてスタートします。

会員企業、学識者、並びに、人材育成委員会等の関係各位のご協力を得て、SCを学術的、体系的に学びながら、SCの新潮流や将来動向についても理解を深めてまいります。

受講生は、講義、ゼミナール、討論、参考文献の研究等を通して研鑽を積み、最終的には卒業研究(卒業論文)を作成して、その結果として修了資格を取得していただきます。

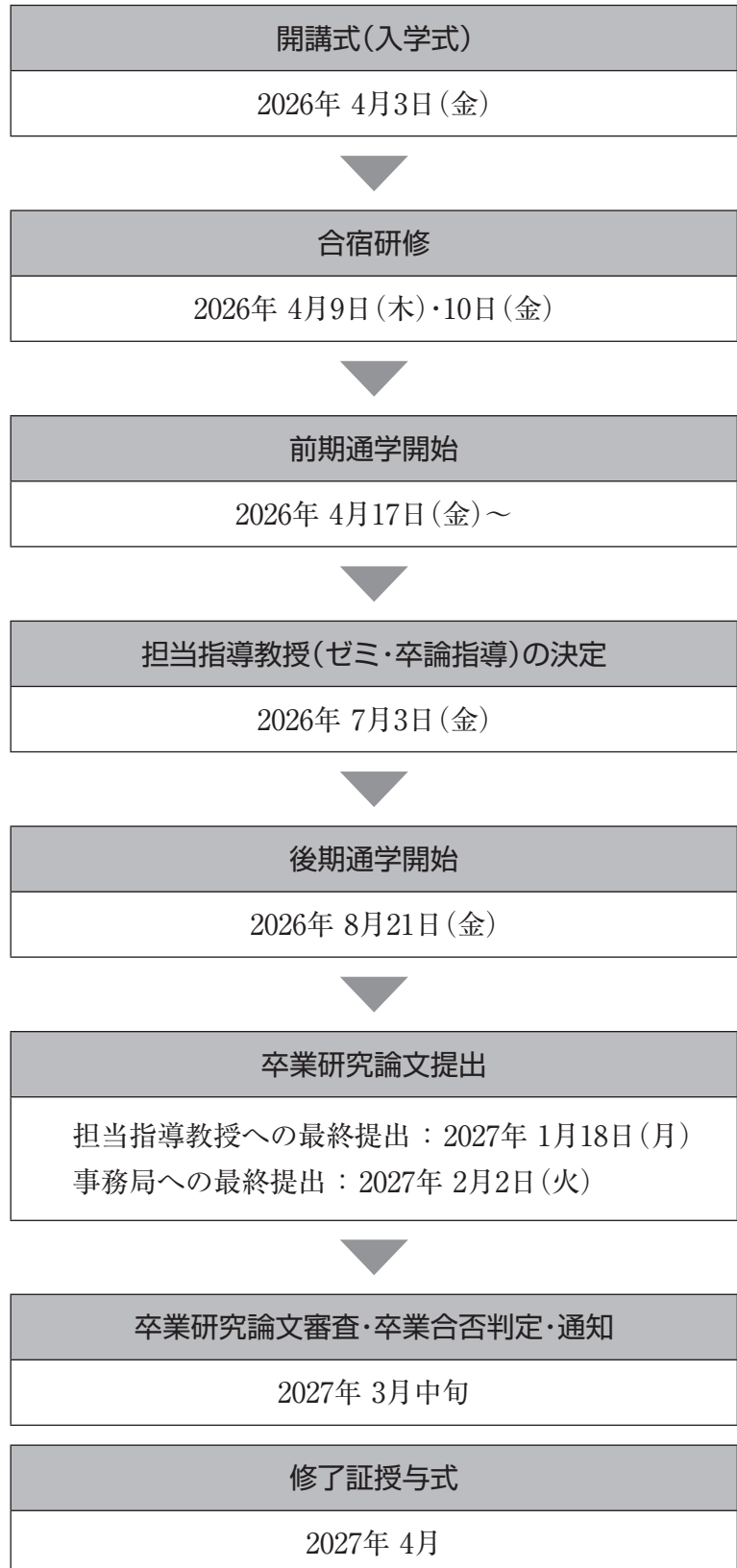
本履修ガイドは、履修をスムーズに進め、履修成果を高めるための手引きです。

受講にあたって、最初にご一読いただき、履修中にご不明な点がありましたら、その都度ご確認くださいませようお願いいたします。

2026年4月

はじめに.....	3
1. 年間スケジュール	5
2. 受講事務手続き	6
3. 卒業研究論文案内	7
4. 指導教授紹介	8
5. 合宿研修	12
6. SC総論Ⅰ	15
7. SC総論Ⅱ	19
8. SC経営実践論	23
9. 特別演習	27
10. 特別講義	28
11. ゼミナール方式	29
12. 教材、受講にあたって	30
13. 受講規約	31
14. 会場案内図	34

主な年間スケジュールをご案内します。
また、諸般の事情により日程の変更が生ずる
場合があることを予めご了承ください。



2. 受講事務手続き

SCアカデミー事務局 SCアカデミー事務局を下記の通り設置します。

名 称 SCアカデミー事務局

所 在 地 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14

後楽森ビル15階

(一社)日本ショッピングセンター協会内

TEL/FAX TEL03-5615-8523 / FAX03-5615-8539

E-mail kenshu@jcsc.or.jp

営業時間 9:30～18:00

土・日・祝日および年末年始を除く。

(一社)日本ショッピングセンター協会の営業日に準ずる。

受講事務手続き 受講事務手続きを年間スケジュールに沿ってご案内します。

以下に「電話またはe-mailで」と記述されている連絡先はSCアカデミー事務局を指します。

開 講 式 1. 開講式(入学式)……2026年4月3日(金)

合宿研修 2. 合宿研修……2026年4月9日(木)・10日(金)

通 学 3. 通学開始に当たり……2026年4月17日(金)～11月13日(金)(予定)

(1)テキスト・参考文献について

○各講義の1週間前を目安に、講師の指示によって必要なテキストを前の週の講義の際にお渡しするか、間に合わなければe-mailにて送付します。

オンライン参加の受講生には、郵送もしくはe-mailにて送付します。

(2)教室について

○(一社)日本ショッピングセンター協会 会議室(変更の場合もあり)

(3)授業出席について

○毎回、受付にて出席票を受け取り、講義終了時にご記入の上、ご提出ください。

オンライン参加の受講生には、e-mailにて出席票を送付します。

(4)授業欠席について

○欠席の場合は電話またはe-mailで必ずご連絡をしてください。

詳細は、受講規約(P31)をご参照ください。

(5)遅刻・早退について

○遅刻は開始時刻から20分までとなります。それ以降は欠席扱いとなりますが聴講は可能です。早退は終了時刻20分前以降となります。それ以前の早退は欠席扱いとなります。

卒業研究論文 4. 担当指導教授(ゼミ・卒論指導)について

- 7月に担当指導教授が決定します。
- 担当指導教授の指導に従って資料収集し、卒論テーマを検討してください。

5. 卒業研究論文提出について

担当教授への最終提出日……2027年1月18日(月)

事務局への最終提出日……2027年2月2日(火)16時までにご提出ください。

提出先：(一社)日本ショッピングセンター協会 SCアカデミー事務局

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15階

提出物：・ワードデータにてSCアカデミー事務局にお送りください。

e-mail:kenshu@jcsc.or.jp

・3部印刷してご提出ください。

6. 卒業研究論文審査・修了判定・通知について……2027年3月

- (1) 卒業研究論文審査については、卒論審査会議にて行ないます。
 - (2) 修了の判定については、卒業研究論文、出席状況をもとに卒業合否判定会義にて行ないます。
 - (3) 結果についてはe-mailにて、本人にご連絡します。
- なお、卒業研究論文については受講規約(P32)を参照ください。

4. 指導教授紹介

(敬称略)



合宿研修指導教授

小嶋 彰(こじま あきら)

(株)フロンティアリテール研究所 代表取締役
SC経営士

【学歴】 1985年 ニューヨーク州・ロチェスター大学・サイモンスクール・オブ・マネジメント
(大学院卒業:MBA、フルブライト奨学生30期生)

【職歴】 1972年 貿易商社入社

1974年 旅館業開始

1975年 (株)船場入社。営業企画部、開発管理部、人事部、SC総合開発研究所所長、総合開発本部本部長、アジア各国の現地法人設立～初代社長就任(台湾、シンガポール、タイ、アメリカ)および取締役企画開発担当を歴任

2010年 (株)船場顧問就任と同時に、(株)フロンティアリテール研究所を設立し、代表取締役就任

2017年 (株)船場顧問を退任。引き続き(株)船場の社員研修やプロジェクトのコンサルなど(株)フロンティアリテール研究所の業務として活動。現在に至る。



SC総論Ⅰ指導教授

犬塚 潤一郎(いぬつか じゅんいちろう)

実践女子大学生生活科学部 教授(哲学, メディア学, 風土学)

比較文明学会 理事、日本レジャー・レクリエーション学会 理事

Director of Society for Phenomenology and Media

メディア技術(art)研究を専門としながら、哲学固有の思考と社会の結びつきに関心を寄せ「グレート・ブックス・セミナー」の実施・普及にも20年超取り組んでいる。創始者M. J. Adlerが“philosophy is everybody's business”と語るGreat Books Seminarは、人は何を求めて生きるのか？ 社会の目的な何か？ という、哲学の最も基本的な問いを、多様な社会現実と実践のうちでの対話に求めようとする。学術としての哲学は極めて特殊なものともいえるが、その本質はとても人間的であり、その技術は誰にも、特に「現実」が不確かなものとなる時代社会・社会を生きる人たちに、役立つものであると考えている。近年は、哲学的営みと表裏のような関係にあるアート(技術・芸術)の再生を、現代の基礎的課題として提起するとともに、LLM-AIの技術原理と人間性の問題について、国際学会を中心に研究発表を積極的に続けている。



SC総論Ⅱ指導教授

彦坂 裕(ひこさか ゆたか)

(株)スペースインキュベータ 代表取締役、上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授
日本建築家協会会員

東京都出身、建築家・環境デザイナー。東京大学都市工学科・工学系大学院卒業。

現在、(株)スペースインキュベータ主宰。上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授。日本建築家協会会員。建築設計、インテリアデザイン、文化空間プロデュース、都市グランドデザインのほか、玉川高島屋S.C.をはじめ多くの商業界隈の計画に参加。特異な商業環境としてのリゾートや万国博覧会などのプロジェクトも多数。1990年、大阪花博大輪会パビリオンプロデューサー、2005年、愛知万博日本政府館クリエイティブ統括ディレクター、10年、上海万博日本館プロデューサー、15年ミラノ万博・17年アスタナ万博・20年ドバイ万博日本館基本計画策定委員会座長、BIE(パリ国際博覧会事務局)パビリオン審査委員を務める。

著書:『誘惑のデザイン』(織研新聞社)、『夢みるスケール』(彰国社)、『二子玉川アーバニズム』(鹿島出版会)、『空間のグランド・デザイン』(作品社) 等

(敬称略)



SC経営実践論指導教授

矢木 達也(やぎ たつや)(株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長
SC経営士

筑波大学社会工学類都市計画学科卒業。

大手百貨店を経て、1987年、(株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト入社。97年より取締役。2006年4月より代表取締役社長。同社は店舗賃料データ分析(リリム)などオリジナルの調査システムを駆使し、ショッピングセンター等商業施設に特化したマーケットレポートに数多く携わっているほか、ショッピングセンターや商業施設開発時/リニューアル時のマーケティング/コンサルティングを行っている。

インターナショナル ショッピングセンター協会認定CRRP(Certified Retail Real Estate Professional)/CSM(Certified Shopping Center Manager)。

【著書】『タウンセンター:商業開発起点によるウォークアブルなまちづくり』

『アメリカで復活する中心市街地・商店街』(TWO VIRGINS)他、関連業界誌に執筆。



特別演習指導教授

太田 巳津彦(おおた みつひこ)(株)ワイ・キャップ コンサルティング 代表取締役
中小企業診断士、SC経営士

【職歴】1976年 (株)ヤクルト本社入社

1982年 (社)日本ショッピングセンター協会入社

1992年 (株)商業ソフトクリエーションへ出向

1993年 (株)商業ソフトクリエーションへ転籍、営業部コンサルティング課課長

1996年 同社を円満退社、商業コンサルタントとして独立、ワイ・キャップ設立

1997年 (株)ワイ・キャップコンサルティング設立

2007年 特定非営利活動法人一店逸品運動協会設立

【主な著書・原稿執筆】

『店舗施設マネジメントと診断』(同友館)

『一店逸品運動』(同友館)

『一店逸品運動実践ガイド』(同友館)

『商売繁盛の最強バイブル』(同友館)

『月刊専門店』(日専連)・月刊『SC JAPAN TODAY』(日本ショッピングセンター協会)などにレギュラー執筆

【最近の活動】

従来の逸品運動による個店の活性化に加えて、近年はサードプレイスによる商業集積や街の活性化について取り組んでいる。若手診断士と『サードプレイス研究会』を立ち上げ、事例研究やフィールドワークを行っている。



ゼミ指導教授

西山 貴仁(にしやま たかひと)(株)SC&パートナーズ 代表取締役
SC経営士、小田原市商業戦略推進アドバイザー

青山学院大学経済学部卒。

東京急行電鉄(株)(現東急(株))に入社後、宅地開発、土地区画整理などの街づくりを担当。その後、SCの企画開発、運営管理、リニューアルを手掛ける。2012年、(株)東急モルズデベロップメント常務執行役員、新規開発を担当。15年11月独立。

現在は、SC企業の人材育成や研修などの人づくり、開発マスタープラン策定、百貨店SC化プロジェクト、経営計画策定支援、テナントの出店戦略策定などのコンサルティング、公開セミナー、執筆活動、企業や行政のアドバイザーなど幅広く活動している。

(一社)日本ショッピングセンター協会会員、SC経営士、宅地建物取引士。

【主な著書】

『SCマネジメントブック』(日本ショッピングセンター協会)編集委員長、『不動産活用ビジネスモデルプラン集』(総合ユニコム)、現在、ダイヤモンドチェーンストア(DCS)オンラインにて『商業施設の価値を再定義する西山貴仁のショッピングセンター経営』連載中

4. 指導教授紹介

(敬称略)



ゼミ指導教授

亀井 省吾(かめい しょうご)

福知山公立大学地域経営学部 教授、同大学大学院地域情報学研究科 教授

【略歴】中央大学大学院総合政策研究科博士後期課程修了、博士(学術)。東京海上火災保険(株)、投資銀行等にて主にベンチャーキャピタル業務を職掌した後、2015年より産業技術大学院大学産業技術研究科特任准教授、18年より同大学特任教授。19年から現職、24年より同大学大学院兼担、ベンチャー経営、イノベーション、経営戦略研究に従事している。

【兼職】情報社会学会 理事

京都北都信用金庫 監事(非常勤)

中央大学大学院総合政策研究科 兼任講師 他

【主な著書・論文等】

『障害者雇用と企業の接続的成長－事業における「活用」と「探索」の考察－』(学文社 2016年)

『デジタル革命によるソーシャルデザインの研究』(大橋正和編・分担執筆 中央大学出版部 2018年) 他

【受賞】情報社会学会2013年度年次研究発表大会優秀論文賞

人を大切にする経営学会2016年度研究奨励図書部門最優秀賞



ゼミ指導教授

米田 泰子(よねだ やすこ)

(株)東急総合研究所 上席執行役員 研究部長 主席研究員

中小企業診断士、SC経営士

【略歴】お茶の水女子大学文教育学部卒業、同大学院人文科学研究科修了。

大学院修了後、東急総合研究所に入社。生活者の消費行動や生活行動に関する調査研究およびリテール事業を中心に東急グループの事業戦略策定支援に従事している。ショッピングセンターや百貨店の商圈調査に関する分析経験も多い。

【著書】『ミセスが選んだ生活満点100 多摩田園都市にみる「売れ筋」の研究』(共著 PHP研究所 1997年)

『SC経営士が語る新・ショッピングセンター論』(担当箇所執筆 織研新聞社 2013年)

『ローカライズ時代の商業ビル【エリアマーケティング&リーシング】資料集』(担当箇所執筆 総合ユニコム 2021年)



ゼミ指導教授

中山 亮(なかやま りょう)

(株)トリニティーズ 代表取締役社長

SC経営士、宅地建物取引士、賃貸不動産経営管理士、

SC経営士会業務広報グループ副グループ長・早稲田大学SC稲門会副会長、スマート物流学会理事

【略歴】2004年 東急グループ(東急電鉄(株)、(株)東急モールズデベロップメント)入社

2016年(株)トリニティーズ創業

2020年(株)開発の窓口を子会社・グループ化

開発・運営・リーシング・調査分析・経営改善をFTK(フルターンキー)で提供する地方創成型総合コンサルファームを率いる。

【実績】たまプラーザ テラス、二子玉川ライズ、渋谷ヒカリエ、ジョイナステラス二俣川、ランチ横浜南部市場、三宮地下街、高松オルネ、マーサ21、塩釜水産物仲卸市場、いわきららミュウ、(メンバー)GINZA SIX、トレッサ横浜、フェニックスシーガイア 他

【著書】『SC業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』(秀和システム 2024年)

【受賞】鉄道建築協会「最優秀協会賞」・SC大賞「地域貢献賞」

(敬称略)



卒業論文指導教授

木下 修(きのした おさむ)

元 杏林大学客員教授

【略歴】上智大学文学部卒。理想社編集長、セゾン総合研究所主席研究員、法政大学兼任講師、杏林大学客員教授、公正取引委員会再販問題検討小委員会委員、経済産業省フューチャー・ブックストア・フォーラム委員、日本出版学会理事等務める。現在、晶文社顧問。

【主な著書・論文】

- 『書籍再販と流通寡占』(アルメディア 1997年)
- 『流通規制緩和で変わる日本』(共著 東洋経済新報社 1997年)
- 『eリテール』(共著 東洋経済新報社 2000年)
- 『オンライン書店の可能性を探る』(共著 日本エディタースクール出版部 2001年)
- 『新 現代マスコミ論のポイント』(共著 学文社 2004年)
- 『白書 出版産業』(編著 文化通信社 2010年)
- 『改訂 出版メディア入門』(共著 日本評論社 2012年)
- 『新版 大学院受験のための研究計画書の書き方』(共著 晶文社 2018年)
- 『女性の職場はどこまで変わったか』(『婦人公論』897号 122—127頁 1989年5月)
- 『市場経済と出版流通—日本の出版流通の現状と問題点』(『出版研究』26 143-163頁 1995年)
- 『日本の出版流通と再販制度』(『経済セミナー』512号 59—64頁 1998年9月)
- 『アマゾン・コムと書籍流通革命』(『生活起点』18号 15-25頁 1999年11月)
- 『日本の「著作物再販制度」と「再販年表」』(『法学研究』76巻1号 281-334頁 2003年1月)
- 『雑誌産業の現在』(『aura』189号(フジテレビ編成局調査部) 18-25頁 2008年6月)
- 『書籍の委託販売に関する一考察』(『杏林社会科学研究』Vol.25.No.1 1-19頁 2009年6月)

5. 合宿研修

■コース名	第20期:合宿研修
■指導教授	小嶋 彰(こじま あきら) (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役、SC経営士
■テーマ	SC序論
■内容と特長	SC序論はSC業界の将来を担うSCアカデミー受講生に対して、日本のSCの現況や直面している問題点など基礎的知識を提供することにより、SC業界に対する共通認識の涵養とともに成長するSC業界の経済的・社会的役割と地域的・社会的責任の重要性について理解を深めることを目的としている。中長期視点の世界、及び日本の経済社会を読み解く研修からスタートし、その後、年間に亘るSCアカデミー指導教授による「着眼大局型」講義を履修することにより、SC業界の抱える大きな流れや解決すべき課題、及び、チャレンジすべきフィールドを明確に把握していくことを目指している。 その基礎の上に立って、次世代SCのヴィジョンと戦略の活発な討議を行い、「考える力」「創りあげる力」の養成を図る。また、アカデミースタートに当たり、合同合宿研修やグループディスカッション、及び、交流会等を通じて参加者の連帯感と協働意識の醸成を期待している。
■授業(到達)目標	流通及びSC関連産業に関する広範な知識の涵養と、現在直面している課題の把握
■授業計画 ■授業方法	1. 合宿研修について 2. 講義1『特別講義Ⅰ』 3. 講義2『環境革命の世紀』 4. 講義3『The Art of Being – SCの存在可能性への問いと技術–』 5. 講義4『SCアカデミーをサードプレイスする』 6. 講義5『経済社会における小売商業の役割と次世代ショッピングセンター』 7. 講義6『特別講義Ⅱ』 8. 講義7『レジャー施設としてのSC・商業施設のポテンシャル』 9. グループディスカッション 10. 総括
■留意点	次世代を担うSC経営層の養成の目標に沿って「講義型」と「討論型」の研修を行う。 討論に際しては、積極的な討論参加を期待する。

実施日	課目・時間	内容と目的	講師(敬称略)
4/9 (木)	◆事務局より注意事項(9:30~9:35)		
	◆合宿研修について(9:35~10:20)	SCアカデミーにおける学習の意義や手法、覚悟等について、及び、20期生の連携強化について。	小嶋 彰
	第1講(10:30~12:00) ＜特別講義Ⅰ＞ 「国内外の政治・経済・産業 ートピックス(生成AI3.0と地方創生2.0)ー」	前半は、マクロ面から、トランプ2.0による関税戦争など、世界をとりまく政治情勢の行方がどうなるのか、この変動が経済・産業にどのような影響を与えるのか考察します。後半は、ミクロ面から、ホット 이슈の生成AI3.0に企業がどう向き合うべきか、地方創生2.0に企業がどう関わるべきか、その処方箋を示します。このほか、システム思考、文章工学、漢字・ひらがな・カタカナの使い分けなど、すぐに役立つスキルにも触れます。	鍋山 徹
	◆休憩(昼食)(12:00~13:00)		
	第2講(13:00~14:30) 「環境革命の世紀」	今世紀最大の課題である「環境」に対し、我々はどうのような位置に立ち、何を考え、何をすべきなのか？ 商業環境やSCを取りまく「環境」の様相を、歴史的・批評的・包括的に俯瞰しながら、このアポリアへの展望を示す。	彦坂 裕
	第3講(14:45~16:15) 「The Art of Being ーSCの存在可能性への問いと技術ー」	自然環境、健康、平和、経済・・・社会が直面する複合的な危機が、ビジネスの存立基盤を揺るがしています。SCとは“何か”と本質から問い直すこと、そしてその姿勢を支えるものとして、「哲学」の知を自分のものにしましょう。	犬塚 潤一郎
	第4講(16:30~17:00) 「SCアカデミーをサードプレイスにする」	SCアカデミーを「居心地のよい場所」にするための工夫や、講義の効果的な受け方についてお話しします。	太田 巳津彦
4/10 (金)	◆夕食会(交流会)(17:20~18:50)		
	第5講(9:00~10:30) 「経済社会における小売商業の役割と 次世代ショッピングセンター」	・コロナ終息後、新しいSC創造への動きがスタート。特に、既存施設のリノベーションが活発に推進される。今回は、リノベーション戦略について再確認を行う ・家計消費構造の2025年アップデートと人々のライフスタイルの変化 ・SCの新しい核施設の役割も担う施設開発:エンターテインメント、ウェルネス(グリーン環境を含む)、及び、F&B(= Food & Beverage = 食物販と飲食)の施設充実について ・地域活性化における商業施設の役割	小嶋 彰
	第6講(10:45~12:15) ＜特別講義Ⅱ＞ 調整中	調整中	小野 譲司
	◆休憩(昼食)(12:15~13:10)		
	第7講(13:10~14:50) 「リアルな力を最大化するSC戦略」	オンラインが浸透した今、SCが地域にとって価値ある場であり続けるためには、「リアルにしか提供できない価値を最大化すること」が不可欠です。 体験価値・滞在価値・コミュニティ・パーソナライズを組み合わせ、“リアルプラットフォーム”へと進化させることで、SCは新たな需要を創造し、地域の生活文化と地域経済を牽引する存在になり得ます。	矢木 達也
	第8講(15:10~17:30) グループディスカッション ・グループ内討議(15:10~16:40) ・グループ発表(16:40~17:30)	グループに分かれ、課題のテーマについてグループ内でディスカッションを行い、まとめを発表する。 【グループディスカッションのテーマ】 ①コミュニティの中核施設(あるレベルの公共的な役割を含む)としての次世代SCの役割とは？ ②リアル商業施設における買物価値創り・・・ECやレンタル、サブスク等の競合対策としての価値創り ③次世代にて高いご愛顧を獲得するSCリノベーション戦略とは？	小嶋 彰
	総括(17:30~17:45) 事務局よりご連絡(17:45~17:55)		小嶋 彰

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講演内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 講師紹介



鍋山 徹(なべやま とおる)

(一財)日本経済研究所 コンサルティングフェロー

略 歴 1959年生まれ。福岡県出身。82年早稲田大学法学部卒業

職 歴 2000年 米国スタンフォード大学 国際政策研究所 客員研究員

2001年 日本政策投資銀行 九州支店 企画調査課長

2006年 同 上 調査部長

2009年 同 上 産業調査部長

2011年 同 上 チーフエコノミスト

2013年 日本経済研究所 チーフエコノミスト/専務理事、地域未来研究センター長

2024年 同 上 現職

兼 職 (一社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)林業復活・地域創生WG 主査

KSK研究会委員 他

【最近の主な著書と受賞】

『新聞や本を読まなくなった日本人－文章工学と人材育成－』(経営センサー 2024年)

『林業と森林資源の持続可能性』(日経研月報 2023年)

『技術進歩と日本経済』(福田慎一編 共著 東京大学出版会 2020年)」

『地域創生のプレミアム(付加価値)戦略』(山崎朗・鍋山徹編著 中央経済社 2018年)

『黒川温泉の成功プロセス』(日本科学技術連盟「第5回クオリティマネジメント賞」受賞)



小野 譲司(おの じょうじ)

青山学院大学 経営学部 マーケティング学科 教授

サービス産業生産性協議会JCSI(日本版顧客満足度指数)アカデミックアドバイザリーグループ 主査

【略歴】 慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程単位取得、2000年、博士(経営学)を取得。

11年より現職。マーケティング、サービス・マネジメント、顧客満足度指数(CSI)の開発と活用を専門とする。

【著書】『サービスエクセレンス:CSI診断による顧客経験[CX]の可視化』(共編 生産性出版 2021年)

『顧客満足[CS]の知識』(日本経済新聞出版社 2010年) など

	第20期:SC 総論 I
■指導教授	犬塚 潤一郎(いぬつか じゅんいちろう) 実践女子大学 教授
■テーマ	「メタモルフォーシス時代:社会変革を読み解く知的技術」 持続可能性、地域社会、AI変革の渦中に、人間の未来を築き直す
■内容と特長	急速な社会変化の中でビジネスリーダーが直面する課題に応えるための知的技術を学びます。商業空間デザイン、組織・人材育成、地域社会と生活、アートの事業活用など具体的なテーマと先進事例を学びながら、背景にある社会構造や人間性を深く考察します。 ○哲学的思考を実務に応用: 哲学の技術を通じて、変化を読み解き、新たなビジネスの方向性を構想する力を養います。 ○実務と学問の融合: 地球環境危機と持続可能性、そしてAI技術による社会変革・人間の能力再編といった時代のテーマに対して、理論的な洞察と実務的な応用を組み合わせます。 ○多面的な学び: 実務家、研究者、アート分野の専門家による講義とディスカッションを通じて、多角的な視点から課題にアプローチします。 本講座は、業務の現場で即活用できる知的技術を提供するとともに、社会変革の背景を読み解き、意思決定やリーダーシップの質を高める、知的基盤づくりを目指すものです。
■授業(到達)目標	○変革を読み解く力の獲得: AIやデジタル技術による社会変化の本質を理解し、自らのビジネス環境における影響を分析できるようになる。 ○未来を構想し行動する力の醸成: 資源環境制約と持続可能な社会や地域経済再構築に向けた新たなビジネスモデルや戦略を構想する力を身につける。 ○実践的な課題解決能力の向上: 商業空間デザイン、組織運営、地域社会活性化、アートの事業活用など、実務的課題への対応力を高める。 ○哲学的視点の活用: 社会構造や人間性への深い洞察を通じて、戦略的意思決定力とリーダーシップを強化する。
■授業計画 ■授業方法	各講義は、先進事例や理論的視座を通じて、受講生が社会変革の本質を深く理解し、自らの実践環境に結びつけて再構築する知的訓練の場です: 第1講: 哲学的手法の基礎: 社会変革を読み解く知的技術の基盤を構築し、複雑な現象を構造的に捉える力を養います。技術原理に基づいた、AIの活用法を提示します。 第2講: 商業空間デザイン: 商業施設の価値創造におけるデザインの役割と課題を探ります。 第3講: 組織・人材育成: 社会変化に応じた人材づくりと、新たな組織モデルを構想する視点を学びます。 第4講: 地域社会と生活: 人の街の活性化と持続可能な生活構築をテーマに、商業と地域社会の新たな関係性を模索します。 第5講: アートの事業活用: 世界のアートマーケットの動向を背景に、アートを活用した新たな事業可能性を探ります。 第6講: 総合ディスカッション: 5つの講義で学んだ内容を統合し、受講生と講師陣が共に議論を深めます。 ○総合的な視点: 各回を通じて得られる知識や視点は、変化の時代におけるビジネスリーダーとしての成長に直結します。得た学びを積極的に活用し、他の受講者との対話を通じて新たな発見を得てください。
■テキスト・参考書	各回に、レジメ・資料・参考図書が用意・明示されます。
■留意点	各講義は、情報提供や理論解説の場ではありません。社会現象の背後にある構造と変化の深層を読み取り、それを自身の業務課題に結びつける知的経験と訓練の機会です。物事を抽象化して理解し、それを具体的な行動計画や事業アイデアに落とし込む、ご自身の知的プロセスを重視してください。ひとつの講座で学んだ視点を別の講座の課題にどう応用できるかを考えるなど、講義間の相互連携を意識することも重要です。

6. SC総論 I

実施日		課 目	内容と目的	講師(敬称略)
1	4/17 (金)	哲学：構造を読み解き、考えるための技術	知性のメカニズム化(AI技術)が進む今日、社会課題の意味を明らかにし創造的な解法を生み出す、人の知力の重要性が増している。AIの時代を先導する、知の技法としての哲学を学ぶ。	犬塚 潤一郎
2	4/24 (金)	デザイン：「幸福」に寄与する店舗デザイン	資本主義・産業社会の転換のなかで、これからの商業をいかにデザインするか。SC空間の意味とかたちを具体的に構想する。	神谷 利徳
3	5/15 (金)	経営：「生命的」な社会におけるSC経営	企業の“存在意味”とは何か？エコロジカルエコノミー時代におけるSC運営を実現するための理論と姿勢について考察する。	亀井 省吾
4	5/22 (金)	生活：社会の進化と「日常」の深化	デジタル化と人の関係の変化、技術の進歩と人の能力の進化が問われるなか、街と暮らしの意味と豊かさをどのように深めることができるのか。事象事例を通して考察する。	政所 利子
5	5/29 (金)	芸術：社会と生活の意義と形	たんに商材としてではなく、アートを地域社会の経営や企業経営の諸面において、多面に活用しているのが世界の標準である。世界のアート産業の現実に基づき、アートとビジネスの連携について、理論と具体案をとりあげる。	上坂 真人
6	6/5 (金)	Actual Visionary Meeting ー地球と人類を視野に、SCの現状を大きく変えようとする志を持つ人々が共に語り合うー	受講生の皆さんと、講義を担当した講師たちとの、クロスインパクトミーティングを行う。	講師全員が参加

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講演内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(敬称略)

■ 講師紹介



神谷 利徳 (かみや としのり)
(株)Kamiya design 代表取締役

1961年愛知県西尾市に生まれる。名城大学農学部在学中からバーテンダーを経験、87年に内装設計の「神谷デザイン事務所」、94年に家具や照明を制作する「ノーリ・インターナショナル」を設立。これまでに商業施設・店舗・住宅など2500件以上を手掛け、設計デザインからプロダクト製作、店舗経営コンサルティングまでトータルサポートが可能な体制を整えている。近年は環境に配慮した商品や部材を提案しながら“デザインすることで環境を守る”これからのデザインのあり方を模索中。2010年、神谷デザイン事務所とノーリ・インターナショナルの合併を期にさらなる事業強化を図るなか、神谷自身の仕事範囲は、商品開発・イベントプロデュース・各種コンサルティング・地域再生事業アドバイザー・講演・大学非常勤講師・執筆活動・ラジオパーソナリティと、ますます幅広くなっている。22年、(株)神谷デザイン事務所を閉所。これまでのデザイン事業だけでなく、コンサルタントや、プロデュース、まちづくり等さらに、新たなフィールドで、活動を始める。また、アートギャラリー、覚王山閣ギャラリー、神谷本人もアーティストとして、活動を始める。

【請負実績】

「坐・和民」(全国各地)、「博多・一風堂」(全国各地)、「鈴鹿サーキット レストランフロア S-PLAZA」(三重県鈴鹿市)、「Eggs'n Things 原宿店」(東京都渋谷区)、「#0107PLAZA」(東京都 GINZASIX)、「築地ボン・マルシェ」(東京都中央区)等



政所 利子 (まんどころ としこ)
(株)玄 代表取締役

跡見学園短期大学国文科卒。PR誌「メイト」編集長、コスチューム・プロダクトデザイナーを経て1988年(株)玄を設立。地域総合計画、地域・観光振興、地域ブランド創生、事業再生、人材教育等の事業経営コンサルティング。ソフト・ハードの活動実績及び講演活動等を展開。

- 東北文化学園大学客員教授、東京大学東大まちづくり大学院、立教大学大学院観光学部、多摩大学、明治大学政治経済学部就業力育成講座、跡見学園女子大学観光コミュニティ学部観光デザイン学科、教員等歴任。
- 地方制度調査会委員(内閣府)、内閣府地域活性化伝道師、VISIT JAPAN 大使、(一財)東京広域勤労者サービスセンター評議員、(株)新しい村取締役、(一財)ロングステイ財団理事、(一財)地域総合整備財団評議員、中米統合機構加盟国研修講師((独)国際協力機構)等就任。
- 社会実験の推進に関する懇談会(国交省)、ふるさとづくり懇談会(総務省)、地域産業資源活用事業評価委員会(経産省)、関東経済産業局新連携対策審査委員会 委員長、北陸農政局農村振興課委員会(農水省)、関東観光まちづくりアドバイザー会議(国交省)、水源地域振興のあり方に関する検討会(国交省)、産業観光まちづくり大賞審査委員((公社)日本観光振興協会)、JTB交流創造賞選考委員((株)JTB)、全建賞審査委員((一社)全日本建設技術協会)、おやつ学会会長、伊・スローフード展総合プロデュース、伊・万博サポーター(農水省)、「普通科の活性化」検討委員会委員(東京都教育委員会)等就任。
- 「創業塾」女性起業家セミナー主宰(東京都商工会連合会)、TOKYO 起業塾・起業家実践マネジメント((公財)東京都中小企業振興公社)、中心市街地活性化セミナー(中小企業総合事業団)、市町村アカデミー研修((公財)全国市町村研修財団)、全国地域リーダー養成塾((一財)地域活性化センター)、中米統合機構加盟国研修((独)JICA)、移住促進プロジェクト起業塾主宰(高知県/鹿児島県/静岡県)、地域ブランド研究会主宰他講師等歴任。
- 古民家再生・観光まちづくりプロジェクトプロデュース(福井県/富山県/山梨県/神奈川県/静岡県)、地域ブランド開発プロデュース(埼玉県/富山県/石川県他)、江戸まち たいとう芸楽祭企画・運営(台東区)、観光まちづくりSDGs戦略事業(東京都/埼玉県)、「川柳/まち/ひと」(台東区)、「みらいのちから」Kidsプロジェクト(東京都)。

■ 講師紹介



上坂 真人(うえさか まこと)
(株)青幻舎 顧問

1957年生まれ。朝日新聞社、日経マグローヒル社(現・日経BP社)を経て、マガジンハウスで「BRUTUS」「GINZA」、コンデナスト ジャパンで「VOGUE」「GQ」、アシェット婦人画報社(現・ハースト婦人画報社)で「ELLE」「marie claire」等のビジネスディレクターを歴任。2011年、アマナに入社。世界のアートシーンに赴いて学び、アートを活用したビジネスを日本企業に提案し、運営までを手掛ける。21年、株式会社MAGUSを設立し、代表取締役社長に就任。アメリカの「ARTnews」と提携する。23年3月、MAGUS退社とともに、武蔵野美術大学客員教授を辞し、アートの事業化を目指すビジネスパーソンが交流し、世界とつながる場を作る事業に専念。24年、(株)青幻舎顧問に就任。

(敬称略)

	第20期:SC総論Ⅱ 都市創造と商業環境
■指導教授	彦坂 裕(ひこさか ゆたか) (株)スペースインキュベータ 代表取締役、上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授 日本建築家協会会員
■テーマ	都市および都市創造との関係から、SCを含む商業環境の現代的課題を考える。
■内容と特長	SCは都市のなかにあり、またSCのなかに都市がある、という問題設定のもとに、これまで併走的に商業環境問題として捉えてきた地域、メディア、環境、そして市街地の現在を展望し、SCの意図性を深耕するとともに、商業空間の本質性を時代と場所の中で考察する。 SCと関連するリベラルアーツ的学究も合わせて行い、SC諸問題解決への多角的な視点を養うことも目的とする。
■授業(到達)目標	SCと関与的な外的規範領域(都市、ランドスケープ、メディア、環境、さらに批評的哲学ほか)の同時代的かつ正確な把握、それとSCとの関係性の検証、そしてそれらの関係性を基盤にした未来構想力、リベラルアーツ的見識・思考力の滋養。
■授業計画 ■授業方法	○目先の問題解決ではなく、SCを中心にしたさまざまな領域における問題設定、そしてそれを生産的解決へ向けた戦略的媒介を重視 ○ディスカッション含む相互交通を重視
■テキスト・参考書	各講座講師による紹介ほか、下記は総論Ⅱを通じ、SCをめぐる基本的な情動的素養を形成するものとなるので、参考にされたい 彦坂裕著『誘惑のデザイン(織研新聞社)』 大甕聡+未来SC研究会著『突破するSCビジネス』(織研新聞社) ハーレイ岡本著『ビクター・グルーエン』(日本橋出版)
■留意点	○一度、会社での仕事のしがらみを忘れ、少し引いた高い視点から物事を見るというメンタルなコンディショニングづくり ○情報のコピペではなく、自分の頭で考え、自分の言葉で語る習慣

7. SC総論Ⅱ

実施日		課 目	内容と目的	講師(敬称略)
1	6/12 (金)	「歴史から学ぶ ショッピングセンターの未来像」 ービクター・グルーエンー	【スクール形式】 SCの父と言われるヴィクター・グルーエンの足跡、その思想と方法、現代におけるレガシーを紹介しつつ、映画と都市の相関性やSCをめぐる文化的問題を、歴史的横断性をもちながら考察する。	ハーレイ・岡本
2	6/19 (金)	「ランドスケープとSCの相互交通」	【スクール形式】 庭園の構成手法からランドスケープの概念、ランドスケープと都市創造・地域創造の問題を紹介するとともに、今後重要になるSCにおけるランドスケープ価値やランドスケープ的視野の可能性、景観創造、まちづくり、エコロジーの実践的展開を考察する。	平賀 達也
3	6/26 (金)	「アップデートされたSCの概念とは何か」	【クロストークセッション形式】 求められるべきSCの資質を、SCヴィジョンの歴史的廻行、現代における課題、そして未来形の模索を交えながら考察する。合わせてリベラルアーツ的な視点で見たSCの社会的意味、SCにおけるグローバリゼーションとローカリゼーションの問題など、受講生参加型で知見交流をする。	大甕 聡 太田 巳津彦 ハーレイ・岡本 彦坂 裕 (モデレータ)
4	7/3 (金)	「エリアマネジメントの現代的位相」	【スクール形式】 街とSCの再生を国内外の先進的事例を中心に紹介しながら、その方策、キーワード、意味、課題などを包括的に分析し、都市事象のデータ化や可視化、さらにその言語化の重要性、そして実験的なマネジメント推進方法を展開する。	村木 美貴
5	7/10 (金)	「集客装置としての商業環境」	【スクール形式】 集客や滞留、さらには顧客・参加者の支持を得るイベント創造の歴史的・同時代的事例、その制作論、現代における展開、そして地域創生との関係などにフォーカスを当てながら、商業環境の魅力やレジリエンスを高めるあり方について深耕する。	牧村 真史
6	7/17 (金)	「SCは社会的な夢を現実化できるか」	【パネルセッション形式】 現代において社会的な夢とは何か、SCはその夢を現実化する媒体になれるのか。ここではアカデミー講師を含めた先端的に活躍されているパネラーを招聘し、パネラーのショートプレゼンテーションと共に受講生参加型のセッションを展開する。合わせて総論Ⅱの総括も行う。	ハーレイ・岡本 山田 宗司 彦坂 裕 (モデレータ)

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講演内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(敬称略)

■ 講師紹介

**ハーレイ・岡本** (はーれい・おかもと)

(株)イマジネーションプロみなみかぜ 代表取締役社長

【略歴】 SCのイベント・プロモーションの専門会社(株)イマジネーションプロみなみかぜを設立。
30年近く全国のSCでイベントを企画・制作・運営管理。

SCアカデミー1期生、SCアカデミーOG・OB会の「アカデミーテラス」を創設。

SC経営士(23期生)、SC経営士誕生25周年記念論文で「ソーシャライジングセンター(SoC)」を発表し、最優秀賞を受賞、SC経営士会研鑽・研究グループ委員。

サンシャインシティやイオンモールノリタケの「満天」などを手がけるコニカミノルタプラネタリウム(株)の開発コンサルタント。

福井県のアドバイザーとして福井県でのSC開発を支援。

【兼職】 NPO法人まちづくりネットワークTOMネット 専務理事

未来SC研究所 共同主宰

【著書】 『突破するSCビジネス』(共著 織研新聞社)

『反撃する映画と都市-「ショッピングモールの父」と呼ばれたくなかったビクター・グルーエン-』(日本橋出版)

**平賀 達也** (ひらが たつや)

(株)ランドスケープ・プラス 代表取締役

(一社)ランドスケープアーキテクト連盟 副会長

【略歴】 1969年徳島県生まれ。高校卒業後に渡米。93年米国ウェストヴァージニア大学ランドスケープアーキテクチャー学科卒業後、日建設計ランドスケープ設計室の勤務を経て、2008年(株)ランドスケープ・プラス設立。現在同社代表取締役。東京を拠点に、都市の中で自然とのつながりを感じられる空間づくりや仕組みづくりを国内外で実践している。

【著書】 『楽しい公共空間をつくるレシピ プロジェクトを成功に導く66の手法』(共著 ユウブックス 2020年)

『図解 パブリックスペースのつくり方:設計プロセス・ディテール・使いこなし』(共著 学芸出版社 2021年)

**大甕 聡** (おおみか さとし)

SC経営士

生 年 1941年 生まれ

学 歴 1964年 小樽商科大学卒業

職 歴 1969年 東神開発(株)入社

1988年 (株)総合都市開発代表取締役社長就任

2000年 東神開発(株)代表取締役就任

2002年 (社)日本ショッピングセンター協会事務局長就任

2003年 同協会専務理事就任

2011年 同協会専務理事退任後顧問就任、SC経営士会会長就任(2020年退任)

2021年 同協会顧問退任

(敬称略)



村木 美貴(むらき みき)
千葉大学大学院工学研究院 教授

- 【学 歴】1991年 日本女子大学大学院家政学研究科住居学専攻修了
1997年 横浜国立大学大学院工学研究科計画建設学専攻修了
- 【職 歴】1991年～1997年 三和総合研究所勤務
1997年～2002年 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻助手
2000年～2001年 米オレゴン州・ポートランド州立大学ポートランド都市圏研究所
客員研究員
2002年 千葉大学工学部助教授
2007年 現職就任
- 【研究活動】脱炭素型都市づくり、都市計画マスタープラン、中心市街地活性化
- 【事業実績】日英米のマスタープラン、中心市街地活性化、大都市圏計画自治体間連携の研究
英国都市計画とマスタープラン(学芸出版)
地方分権時代のまちづくりと条例(学芸出版)
地方都市における土地利用規制と中心市街地活性化に関する研究
エリアマネジメント 地区組織による計画と管理運営



牧村 真史(まきむら まさふみ)
作戦本部(株)戦略局 局長
(公社)2025年日本国際博覧会協会運営事業 顧問
リパブリックイニシアチブ 事務局長、イベントプロデューサー

- 【略歴】1950年3月19日生まれ。博覧会や都市開発、イベントの企画・プロデュースを中心に活動。
EXPO2005愛知万博、10年上海万博日本政府館をはじめ多数の博覧会などのプロデューサーや愛知県、名古屋市など自治体の委員を務める。
- 【主な経歴】
世界都市博覧会 事業企画プロデューサー
江戸幕府開府400年祭 統括アドバイザー
2005年日本国際博覧会 チーフ・プロデューサー
2006年上海市人材発展センター 特別顧問
2008年上海世博会事務協調局運営海外顧問
2010年上海万博 日本政府館プロデューサー(広報・催事・運営)
東京築地市場豊洲移転広報プロデューサー(2013～2014年)
ツーリズムEXPO ジャパン2015 Japan Night プロデューサー
三重・全国菓子博覧会2017 プロデューサー
新潟県柏崎市特別職・アドバイザー(2007～2018年)
- 【著書】『万博を創る』(共著)、『地球大交流』(共著)、『街直し屋』(共著)



山田 宗司(やまだ そうじ)
未来SC研究所 主宰
まちづくりネットワークNPO法人TOMネット 理事
学校法人箕面自由学園 理事

- 【略歴】東京大学経済学部を卒業後、日本国有鉄道に入社。広報部、主計局、監察室補佐等を経て、民営分割により西日本旅客鉄道(株)に移籍。新事業の旅行業本部国内課長、神戸・京都各旅行支店長を歴任後、新設のJR西日本ファッショングッズ(株)の初代取締役社長として駅やSCにレディース向け服飾雑貨の約50店舗を展開。その後、SC業に転出し、天王寺SC開発(株)、神戸SC開発(株)の各取締役社長を経て、JR西日本SC開発(株)の取締役会長、顧問を歴任。退任後、有志と「未来SC研究所」を創設し、SC再生に関わるセミナー主催や地方の単館SCの再生支援に携わり、また福井県主宰のSC研究会アドバイザーとして活動中。
- 【著書】『突破するSCビジネス』(共著 織研新聞社 2021年)

	第20期:SC 経営実践論
■指導教授	矢木 達也(やぎ たつや) (株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役
■テーマ	リアルの力を最大化する SC 戦略
■内容と特長	SCが地域にとって価値ある場であり続けるためには、「リアルでしか提供できない体験を徹底的に磨き込むこと」が欠かせません。生活者のニーズは多様化し、価値観もスピードを上げて変化しています。こうした変化を的確につかみ取り、来館そのものが“体験”となる仕掛けや、思わず長く滞在したくなる心地よい環境をいかにつくるか。 本講座では、SCを“ライフスタイルを創るプラットフォーム”へと進化させるために必要な方向性と、具体的な手法を体系的に学びます。
■授業(到達)目標	Step1 小売の進化や消費者行動の変化など、SCを取り巻く環境を正しく理解し、これからのSCの“あるべき姿”を描けるようになる。 Step2 SC経営の方向性を構想し、SCにおける新たな事業・サービスを企画できる力を身につける。 Step3 自分の考えを整理し、意見をまとめ、チームで実現へと導くための表現力・合意形成力・実行力を養う。
■授業計画 ■授業方法	講義とワークショップを組み合わせた形式で進めます。 各専門分野のゲスト講師による講義(インプット)を中心に、自らの考えや企画をまとめて発表するアウトプットの時間や、受講生同士で議論するディスカッションの時間も極力確保します。
■テキスト・参考書	Eコマースのみならず、AI技術の進歩などSCを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。経済・社会・生活者の価値観の変化も視野に入れ、幅広い情報メディアに積極的に触れてください。
■留意点	各講師の考え方や実績などの事前情報は、適宜共有します。 講義に臨む際には、提供された情報をもとに“自分なりの視点や仮説”を持って参加できると、学びがより深まります。

8. SC 経営実践論

実施日		課 目	内容と目的	講師(敬称略)
1	8/21 (金)	「リテールの未来像と スタートアップとの協業」	SCのパートナーであるリテーラーの進化を予測しつつ、リテール領域のスタートアップの成長と事業会社との共創の関係を探る。	大久保 洸平
2	8/28 (金)	「プレイスメイキングによる SCの新たな『場』づくり」	SCや周辺エリアの空間を誰もが使いこなせる居心地の良い空間に変える。多様なアクティビティを創出させるプロセスやデザイン、ネットワークづくりを考える。	園田 聡
3	9/4 (金)	「SCにおける『ファッション』の再構築」	SCにおけるファッション販売の価値と役割を再定義し、SCの競争力向上につなげたい。最新動向と識者の視点を通じて、SCにおける「ファッション」の再構築を考える。	杉江 潤平 中村 維
4	9/25 (金)	「SC事業の理解 -リート・ファンドとバリュアップ-」	商業施設の所有形態として定着化したJリートとその仕組みを理解する。NOIから資産価値を算出、バリュアップの仕組みを考える。	小野 伸太郎
5	10/2 (金)	「地方商店街の活性化事例とSCへの応用」	地方商店街の活性化、まちおこしの具体策を事例から学び、SCでの応用を考える。	木藤 亮太
6	10/23 (金)	「海外先進事例を通して 新たなSC開発の手法」	アジアでのSC開発をケーススタディにコンセプトワークから、プロセスプランニング、デザインワークなど、ネットにはかなわないリアルの場づくりを学ぶ。	小澤 克裕
7	10/30 (金)	まとめ -リアルを力最大化する SC戦略仮説づくり-	グループ別ディスカッションと プレゼンテーション	矢木 達也

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講演内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(敬称略)

■ 講師紹介

**大久保 洸平**(おおくぼ こうへい)**New Commerce Ventures(株) 代表取締役**

東京工業大学卒業後、ヤフー(株)に入社。Yahoo!ショッピングにて、出店企業へのコンサル営業、サービスEC事業立上げ、広告企画の業務に従事。またCSO(Chef Strategy Officer)室にて調査業務も担当。2017年よりYJキャピタル(株)(現 Z Venture Capital(株))に参画。リテール・コマース領域を中心としたスタートアップ支援に注力。22年にNew Commerce Venturesを設立。スタートアップ投資、事業会社のオープンイノベーション支援を行う。

**園田 聡**(そのだ さとし)**(有)ハートビートプラン 代表取締役(共同)、認定特定NPO法人日本都市計画家協会 理事 他**

1984年埼玉県所沢市生まれ。2009年工学院大学大学院修士課程修了。商業系企画・デザイン会社勤務を経て、15年、同大学院博士課程修了。博士(工学)。16年より(有)ハートビートプラン。専門は都市デザイン、プレイスメイキング。現在は、大阪・東京を拠点に全国各地でプレイスメイキングの理念・手法を用いた実践・研究に取り組んでいる。著書に『プレイスメイキング〜アクティビティ・ファーストの都市デザイン〜』(学芸出版社)。

**杉江 潤平**(すぎえ じゅんぺい)**(株)織研新聞社 編集部**

本社編集部所属。編集プロダクション勤務の後、2003年織研新聞社入社。大手アパレル、服飾雑貨メーカー、百貨店担当を経て、現在はスポーツ用品業界を取材。モットーは『高い専門性と低い腰』『何でも見てやろう』。

**中村 維**(なかむら ゆい)**(株)織研新聞社 東京本社編集局**

2002年織研新聞社入社。東京本社編集局配属。2002~2009年東京コレクション、若手デザイナー取材等を担当。2009~2015年ジュエリー、バッグ企業取材を担当。2016~現在までジュエリー担当を継続しつつ、ファッションECビジネス周りの特集企画運営、ZOZOなどECプラットフォーム取材を担当。

(敬称略)



小野 伸太郎 (おの しんたろう)

Otemachi One マネジメント(株) 取締役運営本部長

1988年 三井不動産(株)入社

2009年 ららぽーとマネジメント(株)(現 三井不動産商業マネジメント(株))出向

2014年 同社 執行役員運営第一本部長

2017年 三井不動産(株) 商業施設本部 商業施設運用部長

2020年 三井不動産フロンティアリートマネジメント(株)出向 代表取締役社長就任

2024年 Otemachi One マネジメント(株) 取締役運営本部長就任(現在に至る)



木藤 亮太 (きとう りょうた)

(株)ホーホウ 代表取締役／(株)油津応援団 取締役／(株)バトンタッチ 代表取締役／
地域間連携推進機構(株) 取締役／(株)4WD 代表取締役

1975年生まれ。宮崎県日南市が実施した全国公募で選ばれ、2013年より“猫さえ歩かない”と言われた油津商店街の再生事業に取組み、約4年で25を超える新規出店、企業誘致等を実現。商店街再生の好事例として国や各地から大きな評価を得ている。

その後は自らのルーツがある福岡県那珂川市に拠点を移し(株)ホーホウを設立(18年より)、JR博多南駅前ビル「ナカイチ」を地域コミュニティを育む場として再生、19年には(株)バトンタッチを設立、39年の幕を閉じた老舗喫茶店「キャプテン」を継承し、母や祖母らと2人足して172歳の喫茶「みんなの茶の間“てって”あんとく」をオープン。20年からはJR古賀駅西口、21年からはJRの宇島駅前のエリアマネジメント事業を担う。「旅する学校／問いを立てる学校おおい」校長。22年より豊後大野市「関係人口交流拠点施設cocomio」の指定管理をスタート。



小澤 克裕 (おざわ かつひろ)

Woods Bagot Asia Limited 香港スタジオ シニア・アソシエート

慶応義塾大学総合政策学部卒業。南カリフォルニア建築大学大学院卒業。

アジア圏でSCを中心とした大型複合施設のプランニング及び設計を手掛け、SCとオンライン・リテールの共存を図った未来型商業施設Funan (シンガポール)の設計担当を担う。その他主要なプロジェクトにDFS Changi Airport(シンガポール)、City of Dreams Casino (Macau)、Cofco Joycity Shenyang(中国)などが挙げられる。Woods Bagotではデジタル空間分析技術を用い、データに基づいたEvidence Backed Designを心掛け商業施設の価値向上を目指した設計を行っている。

	第19期:特別演習
■指導教授	太田 巳津彦(おた みつひこ) (株)ワイ・キャップ コンサルティング 代表取締役
■テーマ	「実践力の習得」 ケーススタディとフィールドワークを通じて、現状を分析し戦略を立案する力を身につける
■内容と特長	○顧客視点を実感する ○戦略発想を身につける ○まちの活性化を考える
■授業目標	○事実から本質を読み解く洞察力の習得 ○客観的に現状を分析する力の習得 ○将来を見据えて戦略を立案する力の習得
■授業計画	演習Ⅰ：講義&ケーススタディ<個人ワーク> 演習Ⅱ：現地を訪問するフィールドワーク<グループワーク> 演習Ⅲ：フィールドワークの結果に基づくプレゼンテーション<グループワーク>
■テキスト・参考書	『ビジネス・フレームワーク』(日経文庫) 『SWOT分析コーチングメソッド』(マネジメント社)
■留意点	○本講座は、個人ワークとグループワークから構成される。 ○個人ワークでは、自らの頭脳をフル回転させ、最適解を導き出すこと。答えは与えられるものではなく、また一つではない。 ○グループワークでは、積極的にディスカッションに参加すること。

実施日		課 目	内容と目的	講師(敬称略)
1	9/18 (金)	特別演習Ⅰ 「ケーススタディ 戦略策定のフレームワークを習得する」	事例演習を通じて、戦略策定のフレームワークを習得する。	太田 巳津彦
2	10/16 (金)	特別演習Ⅱ	注目の商業施設を訪問し、フィールドワークを行う。	太田 巳津彦
3	11/13 (金)	特別演習Ⅲ	フィールドワークに基づき、当該施設の活性化戦略を策定し、プレゼンテーションしていただく。	太田 巳津彦

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講演内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

10. 特別講義

実施日		課 目	内容と目的	講師(敬称略)
1	7/24 (金)	特別講義Ⅲ 調整中	調整中	調整中
2	8/7 (金)	特別講義Ⅳ 「人口減少社会における持続的成長」	人口減少社会における人材確保、低生産性等の課題を抱える外食産業。さらにコロナ問題により産業の持続性が一層問われるなか、現在と将来について考えます。	菊地 唯夫

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講演内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ 講師紹介

(敬称略)



菊地 唯夫(きくち ただお)

ロイヤルホールディングス(株) 代表取締役会長

1965年神奈川県生まれ。88年早稲田大学政治経済学部卒業後、日本債券信用銀行頭取秘書、ドイツ証券東京支店投資銀行本部ディレクターなどを経て、2004年、ロイヤルホールディングス入社。総合企画部長、法務部長、管理本部長などを経て、10年、代表取締役社長、16年、代表取締役会長(兼)CEO、19年、代表取締役会長に就任(現任)。20年4月より京都大学経営管理大学院で教壇に立つ。22年より日本生産性本部サービス産業生産性協議会副代表幹事、24年より経済同友会副代表幹事を務める。

	第20期:ゼミナール方式
■内容と特長	少人数(5～6名)のグループ形式で行う。 双方向性・相互啓発性の高い状況において、与えられたテーマ・課題などを学び取ることを目的とする。
■指導教授	小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役 (敬称略) 犬塚 潤一郎 実践女子大学生生活科学部 教授 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役 太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役 西山 貴仁 (株)SC&パートナーズ 代表取締役 亀井 省吾 福知山公立大学地域経営学部 教授 米田 泰子 (株)東急総合研究所 上席執行役員 研究部長 主席研究員 中山 亮 (株)トリニティーズ 代表取締役社長
■授業方法	担当する指導教授の指示に従い決定し、実施する。
■実施回数	4回 実施日(予定) 7/31(金)、9/11(金)、10/9(金)、11/6(金) ※日時・場所についてはゼミごとに指導教授と受講生で調整し決定する。 ※基本は、リアルにて開催。

※受講生には8つのゼミに分かれていただきます。グループ分けについては、改めてご案内します。

※ゼミのグループ分けは7月に決定し、発表します。

※ゼミの指導教授が卒業論文指導も行います。

12. 教材、受講にあたって

■教材

(1)教材について

- 各講師が書き下ろしたテキスト(レジュメ)・資料を使用し、講師により、パワーポイント等を利用してビジュアルに講義の理解を深めていただきます。参考図書は、講師が、専門性の高いもの、アップツウデートなものを推薦します。入手が難しい参考書も、一部SCアカデミー事務局に取り揃えていますので、ご利用ください。
- 教材のお届けについて
講師の指示により、必要な教材は、前の週の講義の際に配布するか、直接受講生宛に郵送もしくは、メールにてデータでお送りします。
- 当日用の講義テキストは必ず持参ください。

■その他

(1)交流の推進

- 積極的に他の受講生との交流を図り、情報交換等を行うことをお勧めします。また、懇親会を予定しておりますのでご参加ください。ただし、状況に応じて中止になる場合もございますので、予めご了承ください。

受講について留意いただく基本的事項を以下に列挙しましたので、講座がスムーズで円滑に運営できるように、ご協力ください。

■履修・在学年限 ○第20期(2026年度)受講生の履修、在学年限は、2026年4月～2026年3月までの1年間です。在学期間の延長、短縮はございません。また、「休学制度」はありませんので、再履修をご希望される場合は、第21期(2027年度)の新規履修を改めて手続申請してください。

■受講にあたって (1)受講料関係

○受講料に含まれるものは、講義受講費、論文指導費、論文審査費、論文編集費、教材費、合宿研修費(会場、食事等)、懇親会費、修了証授与式、交流会費、各種賞品代、諸連絡通信費、事務経費等です。

受講料に含まれる教材費は、各回のテキスト、「ザ・ショッピングセンター」「新版 ショッピングセンター用語辞典」「SC白書2026」です。その他の各講師が指定する関連資料の購入費等は、受講生負担です。

○受講申し込み完了後のキャンセルおよび開講後に受講を中止される場合は、お支払いいただいた受講料の払い戻しはいたしません。ご了承ください。

(2)講義実施時間、遅刻、早退、途中退席

○講義実施時間は、金曜日の18:30～20:30を基本としますが、一部変更になる場合がありますので、その場合は事務局より事前にご連絡します。

○遅刻、早退、途中退席は、講義運営に支障をきたしますので、極力避けてください。

○「遅刻」は開始時刻から20分までとなります。それ以降は欠席扱いとなりますが聴講は可能です。「早退」は終了時刻20分前以降となります。それ以前の早退は欠席扱いとなります。

例)通常通学の場合(講義時間18:30～20:30)

・遅刻…18:30～18:50 ※18:51以降の入室は「欠席」となります。

・早退…20:10～20:30 ※20:09以前の退出は「欠席」となります。

※オンライン受講の際も同様です。

※遅刻と早退を併せて3回で欠席1回となります。

○やむを得ず、遅刻、早退をする場合は、事務局まで必ずご連絡ください。

○大幅な遅刻や時間帯によっては、入室をお断りする場合があります。

(3)撮影、録画、録音、配布資料の複製や無断転用の禁止

○受講時の撮影、録画、録音は、ご遠慮ください。

○受講に際して配布されたテキスト・資料等は、(一社)日本ショッピングセンター協会および担当講師が著作権を持っていますので、受講目的以外に流用、複製することはできません。

(4)講義の参考書、資料の貸出しの制限

○事務局で用意し、閲覧できる参考書、資料のコピーや持出しは禁止です。閲覧資料の破損、逸失、汚し、書き込み等のないように取り扱いにご注意ください。閲覧された資料を破損、逸失等した場合、相応の責任をとっていただく場合がありますので、予めご了承ください。

(5) 受講の制限

- 受講生の代理、交替の受講はできません。
- 教室内および所定の場所以外での飲食、喫煙は禁止です。教室内では、携帯電話をマナーモードに切替えてください。
- 受講にそぐわない言動、行動があった場合は、退室いただく場合があります。

(6) 講座ご出席の仕方と確認

- 事務局は、資料、荷物をお預りできませんので予めご了承ください。
- 受講の際は、事前に配布もしくはお送りした当日用のテキストを必ずご持参ください
- 欠席が続く場合は事務局から、受講生の所属する企業の推薦者宛にご連絡する場合があります。
- 教室が変更になる場合がありますので、その際は事前に受講生宛に速やかにご連絡します。

■卒業研究論文について

(1) 卒業研究論文の提出

- 卒業研究論文は本人提出とし、代理は認められません。共同作成の場合であっても必ず、各自で提出してください。提出された卒業研究論文の返却はいたしません。卒業研究論文提出後の内容の確認、修正のための一時返却のご要望については、お応えし兼ねる場合がありますので、ご注意ください。
- 卒業研究論文の用紙、体裁、規定枚数等については、後日詳細をご案内します。
- 卒業研究論文は決められた期日(2027年2月2日(火))を厳守して、事務局宛に提出いただきます。ただし、修了認定保留者に対して卒業研究論文の再提出を指示する場合がありますので、この場合は別途期限をご案内します。
- 他者の論文を盗用した場合は、修了認定されない場合がございますのでご注意ください。引用される場合は、その範囲と出典を必ず明記してください。

(2) 成績の評価および修了規定

- 出席率、提出された卒業研究論文の審査等を基に、卒業合否判定会議にて修了の可否と論文優秀者を選出し、表彰状と修了証を発行します。
- 事務局から、本人に修了等のご連絡をします。

■その他

- 事故等の安全面、盗難、忘れ物等に関しては、各自の責任で管理してください。
- 教室、会場の施設、設備、備品を損壊した場合は、受講者、所属企業に責任を負っていただく場合があります。
- 持参された機器や記録媒体によって、会場に装備している機器および設備の故障、損害等を引き起こした場合に、損害の実費を請求させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
- パソコン持参で会場の情報機器の設備を利用する場合、IT利用環境に適合したものをご持参ください。会場の設備利用によるデータ破損の場合、事務局は、責任を負い兼ねますのでご注意ください。
- 「SCアカデミー」受講について、文部科学省「教育訓練給付制度」の適用はありません。
- 個人情報保護の利用目的について当協会は、今回取得します受講生皆様の個人情報を主に「SCアカデミー」を実施するために利用します。その円滑な実施のために名簿を作成して、参加者や講師に配布します。詳細は当協会ホームページをご参照ください。
<http://www.jcsc.or.jp/>
- 受講において不明な点がありましたら、遠慮なく事務局宛にお問い合わせください。
- 本規約は、予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

1000000



【飯田橋駅】JR総武線 東口より徒歩7分／南北線・東西線・有楽町線 A1出口より徒歩7分／
都営大江戸線 C2出口より徒歩3分

【水道橋駅】JR総武線 西口より徒歩4分／都営三田線 A2出口より徒歩6分

【後楽園駅】丸ノ内線 2番出口より徒歩10分

一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル15階

TEL:03-5615-8523 / FAX:03-5615-8539



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15階

TEL.03-5615-8523 FAX.03-5615-8539

URL <http://www.jcsc.or.jp/> E-mail kenshu@jcsc.or.jp

禁無断転載©日本ショッピングセンター協会SCアカデミー2026